

主 要 業 務 報 告

平 成 1 4 年 1 月
農林水產技術會議事務局

. 特段の報告事項

1 . 第 2 回遺伝子組換え農作物等の環境リスク管理に関する懇談会の開催について (別紙 1 参照)

第 2 回遺伝子組換え農作物等の環境リスク管理に関する懇談会が平成 13 年 12 月 18 日 (火) に開催された。

第 2 回懇談会においては、遺伝子組換え農作物に係る関係者 6 名からの意見聴取及び質疑が行われた。

2 . 平成 13 年度研究分野別評価分科会合同会議の開催について (別紙 2 参照)

平成 13 年度研究分野別評価分科会合同会議が 12 月 4 日 (火) に開催され、研究分野別評価の実施方法等に関する議事が行われた。技術会議からは西尾研究総務官が出席した。

3 . 平成 13 年度独立行政法人評価委員会農業技術分科会 (第 2 回) の開催について (別紙 3 参照)

平成 13 年度独立行政法人評価委員会農業技術分科会 (第 2 回) が 12 月 10 日 (月) に開催され、独立行政法人評価基準の考え方等に関する議事が行われた。技術会議からは、岩元局長、永山研究総務官、西尾研究総務官が出席した。

4 . 平成 13 年度研究分野別評価ゲノム等先端分科会の開催について (別紙 4 参照)

平成 13 年度研究分野別評価ゲノム等先端分科会が 12 月 25 日 (火) に開催され、ゲノム等先端分野における試行評価の基準、評価項目等に関する議事が行われた。技術会議からは西尾研究総務官が出席した。

. その他会議等の結果

日時	会議名	主な出席者	主な議題
11月27日 ～28日	第34次日韓農林水産技術協力委員会	(日本側出席者) ・技術総括審議官 ・技術協力課長 ・技術対策室長 ・設計課長 ・国際研究課長ほか (韓国側出席者) ・朴農林部食料生産局長ほか	両国の農林水産業の現状と技術行政の課題、試験研究の動向などを相互に説明するとともに、日韓両国の農林水産業を取り巻く情勢変化に対応した2国間の協力・交流を進展させるため、本委員会の内容を評価・見直しすることにつき合意。
12月11日	第2回日蘭科学技術協力合同委員会	(日本側出席者) ・長内外務省軍備管理科学審議官組織参事官 ・国際研究課長ほか (蘭側出席者) ・グレーネ経済省イノベーション局次長ほか	両国の最近の科学技術政策についての情報交換として、日本側からは総合科学技術会議の設置等に関して、また、蘭側からは情報通信環境は高い水準にあるが、新技術に基づいた起業が少ない等の問題点等につき紹介。
12月14日	平成13年度農林水産省農作物新品種命名登録(第2回)		平成13年度の第2回として、平成13年12月14日付けで6作物8品種を命名登録し同日の官報で公表。

. 人事異動

平成14年1月8日付

(農林水産技術会議事務局)

・研究総務官

西川 孝一
(生産局農産振興課長)

・研究開発企画官
大臣官房併任

竹森 三治
(経営局女性・就農課
女性・高齢者対策推進室長)

・先端産業技術研究課
民間研究推進室長

中島 仁三
(経営局女性・就農課課長補佐(総括))

・筑波事務所研究交流管理官
技術安全課併任

漆原 勝彦
(総合食料局食料政策課首席企画官)